

ペットを飼う前に考えてほしいこと



ペットを飼うことは、その一生について責任を持つことです。動物の種類、品種によって、習性や行動に違いがあり、意思や感情を持っているので、必ずしも飼い主の思い通りになる訳ではありません。しかも、ペットの起こしたトラブルは、すべて飼い主の責任です。

また、飼い始める時期や種類によっては、飼い主よりも長く生きることもあります。単に「かわいい」という気持ちだけでは飼えません。その命を見送るまで飼い続けることができますか？

ペットを飼って後悔しないように、ペットを飼う前に家族全員でよく調べ、よく考えましょう。



飼いたい動物の習性や行動の特徴、飼育に必要な環境について調べましたか？



犬や猫の鳴き声、臭い、ふんの放置などは、多くの地域で近隣トラブルになっています。飼いたい動物の習性や行動の特徴を知り、適切なしつけの方法を学び、適正な環境を整えることは、動物の問題行動を防ぎ、近隣とのトラブルの防止にもなります。

また、犬や猫は品種によっても生態や必要となるケアの方法が異なります。自分の体力や目的に合っているか冷静に判断しましょう。
(大型犬を制御するには、知識や経験だけでなく、体力も必要となります。)



ペットを飼うことができる住宅ですか？



集合住宅ではペット飼養不可の場合があり、ペット飼養可のところでも動物の種類、大きさ、数に制限がある場合があります。必ず事前に確認しましょう。

また、ペットを飼うスペースやペット用品を準備することができるか検討することも必要です。



ペットを一生飼い続けるための経済的な余裕はありますか？



ペットを飼うには食費、医療費、ペット用品費などがかかります。動物の寿命や年間にかかる費用などを事前に確認しましょう。

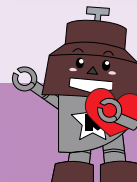


毎日欠かさず、ペットの世話に時間と手間をかけられますか？



ペットは生きています。毎日の世話（食事、散歩、ふん尿の始末、抜け毛の処理など）が必要です。ペットの急な病気など、自分の用事を後回しにすることが必要になるかもしれません。

また、気軽に出掛けたり、旅行したりすることもできなくなるかもしれません。

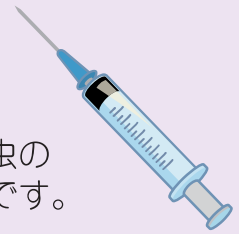




ペットが病気になった時に病院に連れて行けますか？



いつもと様子が違うときは、早めに動物病院を受診しましょう。
また、ペットの健康維持には、日頃から、ワクチン接種や寄生虫の駆除・予防、定期検診、適切な給餌、住環境を整えることが重要です。



家族全員がペットを飼うことに賛成して協力できますか？



ペットを飼うことに家族の協力は欠かせません。飼い主の突然の事故や病気の時、家族がペットの世話をすることになります。
また、犬は群れで生活する習性があり、家族を自分の群れの一員と考えます。誰かが嫌ったり、無関心でいたりすることは犬にとってストレスになり、問題行動の原因になることもあります。



家族の中に飼いたいペットに対するアレルギーを持つ人はいませんか？



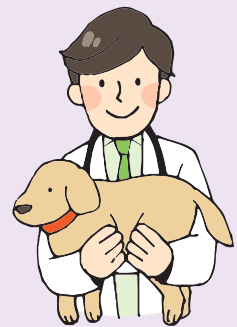
飼う前に医師に相談するなど慎重な判断が必要です。



生涯にわたる計画を立ててみましたか？



人生には様々な転機があります。進学、就職、転居、結婚、出産など、生活に変化があった時、ペットを飼い続けることができるか考えましょう。
また、犬や猫は20年程生きます。ペットも歳を取ると、様々な病気や症状が出ます。介護が必要な場合もあり、長期に及ぶこともありますので、家族の協力は欠かせません。
(特に大型犬の介護には、多大な労力を要します。)



ペットの入手先について調べましたか？



犬や猫はペットショップやブリーダーから購入することもできますが、保健所、動物愛護団体から譲り受けるという選択肢もあります。子犬や子猫に比べ、成犬や成猫は大きさや性質がわかり、食事などの世話も楽である利点があります。
ブリーダーやペットショップなどは動物を販売する際に、購入者に対し、その動物を実際に見せて現在の状態などを確認（現物確認）してもらうこと、さらに、動物に関する情報の説明を対面で行うこと（対面説明）が義務付けられています。
ペットを購入するときは、しっかりとその動物を確認するとともに、説明を聞き、気になる点やわからない点は質問するなどして、よく理解しましょう。



万が一、飼えなくなった時のことを考えていますか？



ペットを飼っている間、自分の健康と体力が続くかよく考えましょう。また、突然の災害や不慮の事故、病気などで飼うことが難しくなることもあります。万が一に備え、ペットを預けられるかた、世話をしてくれるかたを飼う前に見つけておきましょう。